



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2019・9・30 第9号

学年主任 森本 聡一郎

1. 「毎日小さな達成を繰り返せ！」

2学期中間考査まで15日

2学期が始まったと思ったら、今日で9月も終わりです。9月上旬の暑さも中秋の名月を過ぎると落ち着き、朝晩の寒暖の差に戸惑う今日この頃。スムーズに新学期に入ることができましたか？ 2学期に入り、気になっていることが一つあります。それは「小テストの弱さ」です。月曜日に数学、火曜日に英単、木曜日に漢字の小テストを実施していますが、火曜日の英単テストに限って見ると、毎回学年の半数以上の人が不合格の状態です。特に惜しくない不合格が目立つことが問題です。テキストが難解であったり、範囲が広すぎるということもあるかもしれませんが、**やる気の不足**（どうでもいい）や**最初から諦め**（やっても無駄）、**周囲に対する安心感**（自分だけではない）といった気持ちの緩みを感じます。学習習慣の弱さや計画性のなさ、根気と集中力の不足が見えてきます。明日から10月です。明日は英単テスト。昨日までと違う自分に挑戦しましょう。

対策

- ① 時間をうまく使おう。登下校や休み時間、起床時間を見直すこと。
- ② 勉強している中身を見直そう。単純労働をして「勉強」した気にならない。
- ③ 我慢ができて、根気強く努力できる人間になろう。

2. 「10月の予定」

10月	4日(金)	キャンパスカウンセリング
	11日(金)	キャンパスカウンセリング
	12日(土)	英語スピーチコンテスト(四季の森)
	15日(火)	中間考査(～18日)
	21日(月)	ワラワラ市訪問団来校
	22日(火)	即位の礼正殿の儀
	24日(木)	①②授業 ③～球技大会、タイローズガーデン校来校
	28日(月)	学校公開週間(～11月6日)



3. 「制服移行期間始まる」 9月24日～10月4日

朝夕涼しく、と言うよりも、はっきりと寒くなってきましたね。今週から夏服と冬服の併用がスタートしました。以下のことに十分注意してください。

- 1) 移行期間中はセーターの着用禁止です。
- 2) プレザーを着用するときは、必ずネクタイ・リボンを着用すること。
- 3) 夏服か冬服のいずれかに統一すること。

制服の乱れは心の乱れ

4. 「忍耐は苦いが、その実は甘い」

ルソー（フランスの啓蒙思想家）

野口英世（のぐちひでよ 1876-1928）、幼名を清作（せいさく）と言う。福島県翁島（おこなじま）村の極貧の農家に生まれ、子供時代に左手に追う大火傷を負う逆境の中、彼の内面で抑え切れぬほどのコンプレックスは、何とかして世の中を見返そうという強い衝動となって表れていく。上京後、基礎研究の道に進み、渡米・渡欧の中、彼の名声は大いに高まり、日本医学会や政府は慌てて野口の評価を追認することになる。黄熱病研究で訪れたアフリカのアクラ（ガーナの首都）で、この病気に感染し、53歳で職に殉じた。

一時はノーベル賞候補とまで噂されたが、その業績自体は評価が分かれる上に、手段を選ばぬ彼の利己的な行動は倫理的にも相当問題がある。従って、彼における堅忍不拔は、その後『修身』や『道徳』の格好の教材とされたものの、実際は一偉人の美談と言うよりも、ガツガツと何かに飢えて執着するような泥臭い生き方と捉えるべきであろう。しかし、その一方で、そのドロドロした生き様は本当は格好悪いのではなく、何かしら綺麗に生きている反面、実は流されているに他ならない現代人が失いつつある最も根元的な部分なのではないだろうか。他人の見る目や評価ばかりを気にして、自分の「根っこ」を失ってはいまいかと見つめなおしたい気がしてくる。

野口の生家の石碑に、彼の好んだルソーの *La patience est amère, mais son fruit est doux.*（忍耐は苦いが、その実は甘い）が彫られている。

※元気を出していこう！

誰にも悩みや迷いはあります。色々ありますが、頑張っていきましょう。

寒くなっていますが、でも元気を出していきましょう。

何があっても、明日を信じていきましょう。

頑張っているところや、元気のあるところや、信じているところに必ず光は射してきますから！

キミ達が前向きな気持ちをもてるように、詩を紹介します。

前へ

少年の日読んだ「家なき子」の物語の結びは、
こういう言葉で終わっている。

前へ。

僕はこの言葉が好きだ。

物語は終わっても、僕らの人生は終わらない。

僕らの人生の不幸は終わりが無い。

希望を失わず、つねに前へ進んでいく。物語の中の少年ルミよ。

僕はあの健気（けなげ）なルミが好きだ。

辛いこと、厭（いや）なこと、哀（かな）しいこと、出会うたび、
僕は弱い自分を励ます。

前へ。

大木 実

